甲府市立玉諸小学校　学校だより　Garden of learning　第４号

学びの庭

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り，
児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。

〒400-0814　山梨県甲府市上阿原町491番地　電話 055-233-2447 FAX 055-233-2451　E-mail:tamamoro-e@kofu-ymn.ed.jp

創立 明治５年 １８７２年　令和４年（2022年）７月１日　発行責任者　校長　山本英寿

１学期もあと３週間　充実感のある学期末に

【校章の人文字をつくりました】

天の川が美しい季節となりました。早いもので７月を迎え、１学期もあと約３週間となりました。この期間に学習や生活のまとめをしっかり行い、子供たちが充実感や達成感を持って１学期を終えられるように指導していきたいと考えています。また、６月１６日（木）に創立１５０周年記念事業の一つとして、航空写真撮影が行われました。こうした記念事業を通して、子供たちが玉諸小学校の歩みを学んだり、さらによりよい学校にするためにどうしていくのかを考えたりする機会にしたいと考えています。そして、さらに玉諸小学校のことを大好きになって欲しいと願っています。

かけがえのない命を災害から守るために

６月１日（月）の児童引き渡し訓練にご協力をいただき、ありがとうございました。震度５弱の揺れの大きな地震の発生を想定した訓練でしたが、スムーズに行うことができました。

１１年前の東日本大震災では、子供たちを含む多くの方々が犠牲となり、甚大な被害が発生しました。その後も、毎年のように大きな地震が全国各地で起こっています。ここ甲府市は、南海トラフ地震が起こると大きな影響を受けることが予想されています。玉諸小では、安全に避難できる実践的な態度や能力を養い、災害等が発生しても冷静にその場に応じた行動をとることができるよう、今年度は６回の避難訓練を計画しています。今回はそのうちの２回目の訓練でした。

災害は、いつどこで起こるか分かりません。大切な命を守るために、お子さんと危険な場所の確認をするとともに、登下校中や帰宅後に地震が発生した場合に具体的にどのように行動するのか、家以外に家族が集まる場合はどこにするのか決めておくなど、普段から備えておく必要があります。また、各ご家庭に４月に配付した「いざという時のために」（家庭掲示用）についても改めて確認をお願いします。子供たちのかけがえのない命を災害から守るため、ご理解、ご協力をよろしくお願いします。

【児童の引き渡しの様子】

家庭学習へのご協力を

子供たちの学力向上のため、本校では校内研究、研修などを通して、教職員の指導力の向上を図り、授業の工夫、改善などを積極的に行っています。また、今年度も子供たちの自ら学ぶ力を育てるため、保護者の皆様の協力をいただきながら家庭での学習習慣を定着させる取り組みを進めていきたいと考えています。

【家庭学習の手引き等】

各学年の「家庭学習の手引き」を活用し、発達段階に応じて、主に低学年では家庭学習の習慣づくりを中心に、さらに高学年では中学校への進学を意識した学習に取り組ませていきます。家庭と学校とが「家庭学習を大切にする」という同じ視点に立って子供たちを支えていくことで、学習習慣の確立が促され、学力向上につながると考えます。子供たちのやる気、自主的な取組を温かく受け止め、ほめたり、認めたり、励ましたりしてあげてください。ご理解とご協力をお願いいたします。

林間学校～自然の中でさまざまな体験ができました～

６月５日（日）・６日（月）、５年生が初めての宿泊学習（１泊２日）である林間学校に行ってきました。１日目は、県立八ヶ岳少年自然の家での入所の集いの後、キャンプサイトで野外炊事を行いました。班ごとにカレーを作り、とてもおいしくできあがりました。また、冒険ハイクでは、様々なアスレチックを班のメンバーと協力してクリアしながら進んでいきました。夕食後に行ったプラネタリウム鑑賞では、星座等について学び、天体への興味・関心を高める機会となりました。２日目は雨のため、クラフトに挑戦しました。動物の形をした杉板をバーナーで焼き、「キーラック」を作りました。これも楽しい思い出になりました。この２日間の活動を通して、「仲間と挑戦！一致団結」のテーマのもと、みんなで力を合わせて大自然の中で様々な体験をし、思い出に残る充実した林間学校になりました。

【冒険ハイク「ヤッホーの丘」】

仲よく 楽しめた「フェスティバル たまもろ 2022」

「みんなへとどけ！ 最高の笑顔を　ドレミフェスティバル玉諸」のテーマのもと、６月２９日（水）に「フェスティバルたまもろ 2022」を開催しました。これは、児童会を中心として、自分たちの力で大きな祭りを計画し実践する過程を通して、児童の自主性・創造性を高め、責任感や協力する態度を養うこと、縦割り活動を通して異学年間の子ども同士の友好を深めることを目的に行うものです。また、集団としての共同作業を通して、学校生活に変化を与え、学校生活をより豊かで楽しいものにする場でもあります。今年度も、新型コロナ感染症予防対策のため、保護者の皆様へのご参加の呼びかけを控えることとなりました。コロナ禍が終息に向かい、これまでのように子供たちの学校生活の様子を見ていただけるようになればと願っております。当日は、「わくわく広場」と題して、縦割り班ごとに工夫して作った的当て、宝探し、クイズ、障害物走など２４のお店をお互いに巡りました。各会場では、子供たちの笑顔でいっぱいになりました。上級生は下級生の面倒をよく見て、下級生は上級生の言うことをよく聞いて、異年齢集団で仲よく、楽しく活動することができました。

【シューティングゲームのお店】

【○×迷路のお店】

演劇教室「ちぇんじ 図書室のすきまから」

６月１３日・１４日に演劇教室として、本校の体育館を会場に劇団風の子の「ちぇんじ　図書室のすきまから」を鑑賞しました。自分に自信を持てず言いたいことも言えない主人公あやかが、“裸の王様”の世界に入り込み、王様と入れ替わってしまい元の世界に戻るために物語を進めるというストーリーです。子供たちは、久しぶりに見る演劇の舞台に目を輝かせ、身を乗り出して舞台を見つめる子や音楽に合わせ体を揺らす子など、久しぶりに間近で見る演劇を堪能していました。終盤のパレードのシーンでは、担任の先生が飛び入りで出演。子供たちは大喜びで大きな拍手を送りました。普段はなかなか見ることができないプロの迫力ある演技を目の前で鑑賞することができ、とてもよい経験となりました。

学校だよりのＨＰ版をご覧いただけます。